

平成 19 年度第 1 回 冷凍空調規格委員会
冷凍用圧力容器溶接基準検討分科会
議事録

日 時 : 平成 19 年 5 月 15 日(火) 13:30～16:30

場 所 : 高圧ガス保安協会 特別会議室(7F)

出席者 : 委員 : 樋口主査、下村、中尾、桑野、山本
KHK : 佐藤、瀬谷

配付資料

資料 8 前回議事録(案)

資料 9 冷凍用圧力容器の溶接基準改正案(桑野委員案)

資料 10 冷凍用圧力容器の溶接基準改正案(中尾委員案)

資料 11 冷凍用圧力容器の溶接基準改正案(山本委員案)

参考 1 例示基準(第 18～22 節)

参考 2 // (第 24 節)

参考 3 // (第 25～28 節)

参考 4 冷凍特別装置検査員講習テキスト

定足数報告 : 事務局から定足数を満たす旨報告があった。

議 案 :

(1) 前回議事録の確認

資料 8 に基づき、前回の議事が確認され、議事録が承認された。

(2) 資料 9～11 に基づき、基準改正案につき検討がなされ、以下の質疑等があった。

- ・適用範囲に、容器の定義を付加してはどうか。

→ 容器とは内径 160mm を超える円筒形のをいい、その範囲は第一継ぎ手までである旨付加する。

- ・本基準は、適用対象となる配管に限定をかけているが、限定をする必要があるか。また、限定を継続する場合、二酸化炭素のものを適用対象としてはどうか。

→ 限定をかけるか否かは、もう少し時間をかけて検討した方がよい。

ただし、二酸化炭素の配管は、適用対象に含めた方がよい。

- 表 2.1 の備考 2. に、低圧容器とは設計圧力が 2kg/cm² 未満のものといった表現があるが、何故こんなに低いのか。

→ 吸収式のものを対象としているためである。

なお、ここは 0.2MPa とする。

- 溶接材料の項は、下村委員に担当を願い、全面的に見直す。
- その他、各資料の改正点は、事務局で一つの資料にまとめ、次回はこれを検討する。

(3) その他

次回は、平成 19 年 6 月 14 日(木) 13:30～17:00(予定)

場所は、後日連絡する。(注：KHK 特別会議室 (7F))

以上